7 作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で〈メンテナンスサービス〉をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再 生 方 法

作動（展開）

- 異常有り → 取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける
- 異常無し → 取扱店に持ち込み、必要な部品（カートリッジボンベ等）を交換して再生する
- 異常無し → 各自で再生する
  ※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッティングボルト、六角レンチ）が必要です

※附属品として六角レンチとセッティングボルトが付いています

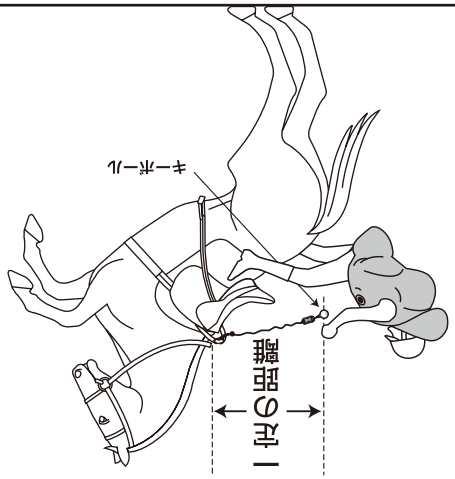
各自で再生するおおまかな手順

詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

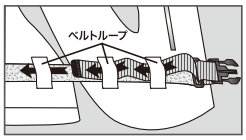
1. 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します 〈P22〉1.参照
2. カートリッジボンベを外します 〈P22〉2.参照
3. エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します 〈P22〉3.参照
4. キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします 〈P23-24〉4～7.参照
5. 未使用カートリッジボンベを取付けます 〈P25〉9.参照
6. キーボックスのカバーを締めて完了です 〈P25〉10.参照

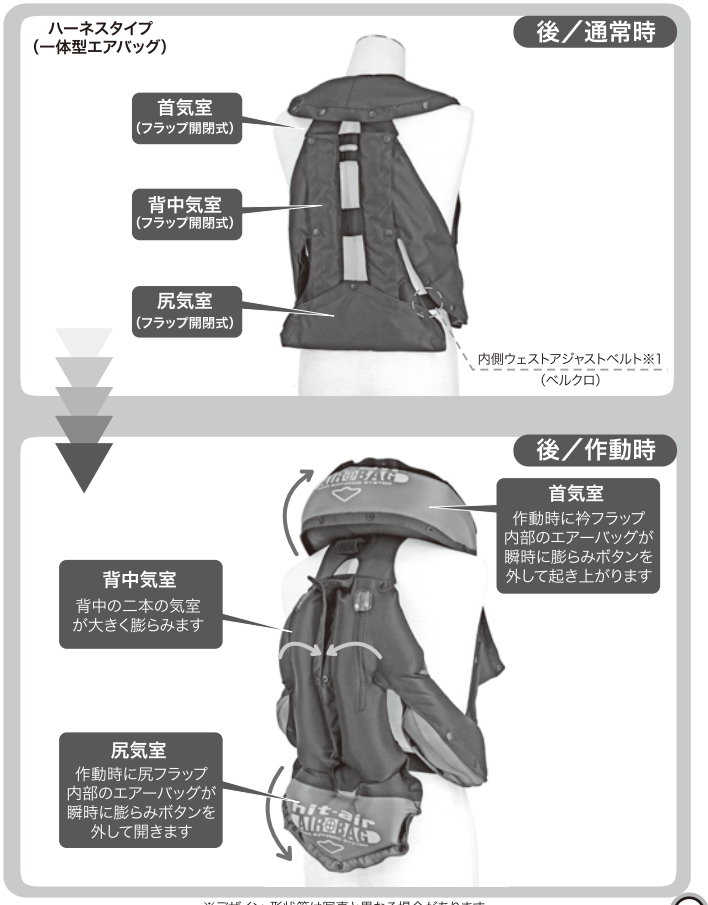
○ヒットエアー付ジャケットを着用し、馬から離れる際に、ワンタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れ、約20kg～30kgの力（4-3 キーボックス〈P12〉参照）がかかった場合も、キーボックスが抜け、作動してしまいます。誤操作に十分注意して下さい。
又、誤操作防止のためのワンタッチリリースの脱着は、馬にまたがった状態で行って下さい。

○一度作動したカートリッジボンベは使用できません。新しいものとお取り替え下さい。



※1）一体型エアバッグ・ハーネスタイプは、アジャストベルトでウェスト調節の際、必ずベルトループに通してからご使用下さい。ベルトループを通さないで使用し作動した場合に、ベルトが外れてエアバッグ本来の機能（衝撃緩和）を損なう恐れがあります。
＊モデルによってベルトループの数が異なる場合があります





※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります

7-2 キーボックスの再生作業

4.キーボックスにヒットエアーバルブを差し込みます（写真4）

キーボックスの下面にあるバルブホールを差し込み、手で締めます。きつくなったら六角レンチを使用下さい。
（バルブを締めるとキーボールの穴が下へ移動します）

5.六角レンチでキーボールの穴が中心にくるよう調節します（写真5）

徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。キーボールの穴が中心に来たら、キーボックスをセットします。

写真4

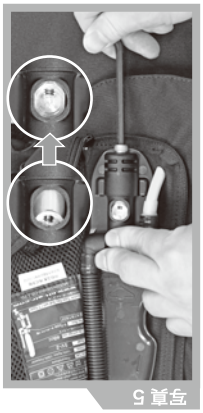


写真5

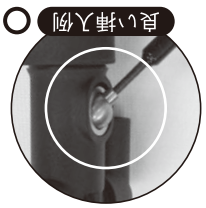
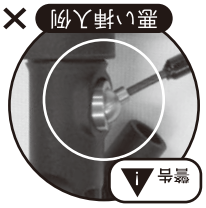
6.キーボールをセットします（写真6）

キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングが穴に平行にセットします。うまく入らない場合は、センターバルブを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。
写真の〈良い挿入例〉の様に、キーリングがキーボックスのフランジ部円形穴より、リング全体が均等に沈んだ状態まで挿入してある事を確認して下さい。

警告
〈悪い挿入例〉の様に、キーリングがうまく挿入されていない状態では使用しないで下さい。本来より小さい引張りで作動したり、自然にキーボールが抜け不意に作動する恐れがあり危険です。

写真6

良い挿入例



悪い挿入例 ×